

進路学習だより

# Break-through

打破！

ブレイクスルー

第2号

令和3年7月5日(月)

小笠原中学校

進路学習部

## ◆自分と向き合い、さらなる学力向上を ～1学期期末考査を終えて～

1学期期末考査が終わりました。採点の結果も返却され、努力の成果が実った人、思ったような結果が出なかった人と様々だと思います。先週の学校朝礼で、校長先生がお話されていた、「『悔しい』という気持ちを感じることができるのは、一生懸命やった人だけ」という言葉がとても印象に残っています。今回の定期考査で、「悔しい」と感じた人は自分の可能性をさらに伸ばすことができます。

さて、6月9日～25日まで学習計画表を書きました。学習時間を記入することや、自分の生活リズムを書き込むことで、様々な反省が見えたと思います。学習時間を確保することの難しさや計画したものを完璧に行う難しさも実感したことと思います。是非、自分の学習を見直すきっかけにしてもらいたいと思います。

また、学習時間が長ければそれで良いというわけでもなく、限られた時間の中で効率的に学習に取り組んでいくことが大切です。例えば、定期考査前の授業で、自習の時間が与えられた時、その5分、10分を無駄にせず、一生懸命に取り組めたでしょうか？「テスト前日になって、ワーク類に追われ、自分の苦手な教科に向き合えなかった」ということはないでしょうか？自分がこの期末考査に向けてどのような学習をしたかは、自分が一番よくわかっているはずですが、次の考査に向けて、十分な学習時間と学習内容の充実を図ることができるよう、今日のテスト反省で考えてもらいたいと思います。

学力を向上させる上で一番の強みになるのは、日常的な学習習慣が身に付いていることです。短い時間でも毎日続けることを第一に考えていきましょう。定期考査が終わって、気が抜けてしまう頃ですが、毎日机に向かう習慣をつけ、次の定期考査に繋げていきましょう。

## ◆PDCA サイクルを実践する

「PDCA サイクル」という言葉を聞いたことはありますか。これは「Plan (計画)」▶「Do (実行)」▶「Check (評価)」▶「Action (改善)」▶「Plan」…を繰り返すことを意味し、由来はこの4つの単語の頭文字からきています。PDCA サイクルを回すことは、社会において仕事の質を向上させるために必要なこととされていますが、今の皆さんの学力を大きく伸ばすためにも効果的なものです。

「Do」までを終えた期末考査には、続きがあります。「Check」に対して、具体的な「Action」を考え、次の定期考査への計画・学習に生かしていきましょう。また、最近、「Reserch (調査)」という言葉を入れて「RPDCA サイクル」とも言われています。覚えておくと良いですね。

